

会 報

教育者会議

北海道

平成26年2月

第28号

発行：北海道北方領土教育者会議

事務局：北方領土復帰期成同盟内

(電話) 011-205-6500 (FAX) 011-205-6501

(H P) <http://www.hoppou-d.or.jp/>

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2-5 明治安田生命札幌北1条東ビル7階

Topics

- 北方領土学習研究大会報告
- 北方四島交流(ビザなし交流)報告(青少年交流)

Information

- 第28回“北方領土を考える”高校生弁論大会の結果について

Topics

○ 平成25年度 第30回北方領土学習研究大会

- ・期日 平成25年12月4日(水)
- ・会場 別海町立中春別小学校、中春別中学校

【研究主題】いつでも、どこでも、だれでもできる北方領土学習

【大会テーマ】つながりが見える北方領土の授業を通して

1. 全体会

イ ビザなし訪問報告(青少年交流・国後)

《根室市立落石中学校 川口大輔教諭》

今回は9月に実施したことで島の夏休みも終わっていて、青少年交流が充実していた。幼稚園、中等学校を視察でき教育の様子が見られた。ロシア人住民の多くは大陸からの転入であり島で生まれ育った人はわずか。

ロ 根室高校「北方領土研究会」活動報告

《根室高校 富谷 進教諭(同研究会顧問)》

「出前講座」で全国各地に派遣され、小・中・高・一般対象に講師をする。また根室市訪問の様々な方との交流は特に要請が増えてきた。地元の「FMねむろ」で隔週番組を担当し、主に元島民へのインタビューを放送している。さらに、近年は根室西高校の「研究会」も活躍しており“オール根室”で活動できることはうれしい。

2. 公開授業

① 中春別小4年「総合的な学習の時間」

授業者：新見 周作 教諭

単元「四島とぼくらがつながる『ナ・ホ・ロ』をつくろう」

一人一人がテーマに合わせて手作りの北方領土資料館『ナ・ホ・ロ』を作り発表をする。本時は発表の前段で他のグループに発表を聞いてもらい修正のための作戦会議を進めた。手作りの立体模型・紙芝居等とても工夫が見られた。聞いた人からよくわかったところ、わかりにくかったところを色別の付箋紙で集約した点は参考になった。数か所誤った情報があったので教師側の点検が必要かなと感じた。

② 中春別中2年「社会科地理的分野」

授業者：原口 樹 教諭

単元 特設社会科「北方領土について知る、考える」



3つの調査グループ(自然班、産業班、歴史班)に分かれて調査・学習を進めてきて、本時はまとめの全体発表会。各班の発表はパワーポイントを使ったわかりやすいものだった。事前アンケートの結果からも北方領土に関してあまり基礎的な知識が薄いようだったが、学習の最終場面の本時で発表内容が全体共有できたのかどうか、発表後の感想でも各生徒の考え・思いの深まりは薄いように感じた。

【寄稿：北海道北方領土教育者会議 参与 山崎 隆】

9月13日から16日まで、国後島で貴重かつ有意義な3泊4日を過ごしてきた。例年は8月に実施されていたが、島の学校が夏休みであるため、十分な青少年交流ができない状況であった。そのため、今年度は9月の実施となった。島には多くの子どもたちが生活しており、真剣に学び活発にスポーツで汗を流していた。しかし、何よりも驚いたのは子どもたちの順応能力である。島に着いてから、わずか1時間で記念写真を撮り、会話集を使いながら楽しげにコミュニケーションをとっていた。



我々、大人の方が躊躇してしまいがちだが、改めて子どもたちの持っている力に脱帽した。

島の学校についての説明があった。中等学校では6～18歳までの子どもたちが学び、50分授業が6校時までである。各教室には実物投影機やパソコン、プロジェクターが常備されており、教育環境が充実されていた。体育館は日本のものと比べると小さかったが、昼休みには男子を中心にバスケットボールに熱中していた。

今回の訪問を受けての一番の収穫は、子どもたちに「生」の

北方領土を体感させられたことである。島の人々がどのような生活をしているのかを間近に見ることができた。きっと参加した子どもたちも、島の子どもたちとふれ合ったことで、国際交流や自国の領土について考えるきっかけとなったであろう。一日も早く、子どもたちのために北方領土問題が解決することを祈るとともに確かな知識と認識をもった子どもたちを育成することが必要であると感じた4日間であった。



Information

○ 第28回“北方領土を考える”高校生弁論大会の結果について

次代を担う若者たちに北方領土問題や返還要求運動に関心をもってもらうため、全道の高校生を対象として開催された弁論大会は無事終了しました。

道内の高等学校から15校41名が応募し、このうち23名が事前審査に進み、本選では事前審査を通った14校14名の高校生が「北方領土を考える」というテーマで弁論発表を行いました。

開催結果は次のとおりです。

*日 程：平成26年1月25日（土）12：30～

*主 題：「北方領土について考える」

*会 場：札幌市男女共同参画センター ホール
（札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ 3階）

*結 果：最優秀賞1名 優秀賞1名 優良賞3名

最優秀賞（外務大臣賞）… 北海高等学校 1年生 富宅 沙也加

優秀賞（北海道知事賞）… 北海道日高高等学校 2年生 サブシキン・ヴラディスラフ

優良賞（北方同盟会長賞）… 北海道鹿追高等学校 2学年 稲葉 有咲

// …北海道根室西高等学校 2学年 安田 さやか

// …北海学園札幌高等学校 1年生 鷺海 駿

※ 事務局では会員の皆さんのメールアドレスの登録をお願いしています。

① 会報の配布や情報発信のためのメール配信によるペーパーレス化推進のため、メールアドレスの登録をお願いします。

② 人事異動等により、勤務先・メールアドレスなどが変更となった場合は、変更届の提出をお願いします。

会員の皆様の、ご理解とご協力をお願いいたします。

教育者会議では、公益社団法人北方領土復帰期成同盟のホームページ内に教育者会議専用ページを開設していますので、是非ご覧ください。

平成25年度 北海道北方領土教育者会議の体制

代 表	横澤 英三（羅臼町立羅臼小学校 校長）
事務局長	丹野 聡（根室市立落石中学校 教頭）
事 務 局	山崎 隆（北方領土復帰期成同盟 参与：非常勤）
	石部 彰（北方領土復帰期成同盟 専門員）
会 員 数	83名（平成25年9月1日現在）